社会資本総合整備計画

安芸市災害に負けない安全・安心のまちづくりの推進(第2期)(防災・安全)

当初

安芸市

令和4年4月

計画	の名称		安芸市災害	に負けない安	安全・安心のまちづくり)の推進((第2期)(防災・安全	:)												重点配分	対象の該当	-
計画	の期間		令和4年度	~ 令和8年	■ 度				交付対象	安芸市												
	本計画では	は、避難場	易所・備蓄倉原		皮害が想定される「南 ことにより、避難対策					よる風水害	など、規模や頻度の異なる	6災害への対応	芯が求る	められてし	いる。							
計画	の成果目標	(定量的	指標)																			
	津波・洪水	等による	人的被害を軸	圣減させる。																		
定量	的指標の定	義及び算	定式									当初现	定量的	り指標の理 中間	見況値及 目標値		目標値			備考		
												(R4)	当初)		6末)		8末)					
	安全性を確	雀保した指	旨定緊急避難	場所の整備に	により、避難困難者の	解消を図	図る(避難困難者数	安芸地区	242人、伊尾木地	区811人、赤	野地区395人)	1,44	8人	0	人	(人					
	指定緊急過	避難場所	のトイレ対策	整備率								0	%	28	.50%	1	00%					
	全体事業費	Ē.		計 +C+D)	777.0百万円	Α	777.0百万円	В	0.0百万円	С	0.0百万円	D	0.0	百万円		足進事業 (A+B+				0.00%		
交付対象	多重業		•		•		•	-	•	*	•											
A 基幹																						
番号	事業	地域	交付	直接		要剥	要素となる事業名			事業内容		市町村名		事業実施		期間(年度)		全体事業費		個別施設計画	/++ + _v	
	種別	種別	対象	間接	事業者		(事業箇				(延長・面積等)	市町	村名	R4	R5	R6	R7	R8	(百万円)	費用便益比	策定状況	備考
A-1	都市防災	一般	安芸市	直接	安芸市		都市防災総合推	進事業(多	安芸地区外3地区)	•津波避難	=3箇所 ≦N=4箇所 挂タワーN=2箇所 ニットN=3箇所	安芸	市						777.0	-	-	別添
	,		•		*									,		合計			777.0			
B 関連	社会資本整																				7	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者		要素	素となる事	業名		事業内容 (延長·面積等)	市町	村名	R4	事業 R5	実施期間 R6	l(年度) R7	R8	全体事業費 (百万円)	備考		
	作主力リ	作生力リ	刈水	间按							(建议 面很牙)			174	10	110	IX7	IXO				
																合計						
番号	一体的に乳	実施するこ	ことにより期待	される効果																	_	
	<u> </u>			•																		
C 効果	促進事業		1							_				_					_		_	
番号	事業	地域	交付	直接	事業者		要素	素となる事	業名		事業内容	市町 港湾・地				実施期間		I 50	全体事業費 (百万円)	備考		
	種別	種別	対象	間接								心房 1	世色石	R4	R5	R6	R7	R8	14,317		_	
					•		•								•	合計			42.0]	
番号	一体的に乳	実施するこ	ことにより期待	きれる効果																備考		
D 社会	資本整備円]滑化地氣	善整備事業																			
番号	事業	地域	交付	直接	事業者			素となる事			事業内容	市町	村名			実施期間			全体事業費	備考		
	種別	種別	対象	間接	, , , ,		1	(事業箇所	r)	1	(面積等)	.,,-,,		R4	R5	R6	R7	R8	(百万円)	1	4	
	<u> </u>		1	1	1									1	<u> </u>	合計			+		1	
番号	一体的に写	事施する.	ことにより期待	きれる効果												ни			1	備考	1	
田勺	77.471	~,,,,,	1-0 ///	I C I V U M A																NH1.43	1	
-	•																			•		

計画の名称	3	安芸市災害に負けない	安全・安心のまちづく	りの推進(第2期)(防災•安全	:)								重点配分対象の該当 -
計画の期間	4	令和4年度 ~ 令和8年	E度				交付対象	安芸市						
計画の目標														
								よる風水害	『など、規模や頻度の異なる災	害への対応	むが求る	められている。		
本計画では	ま、避難場 ほ	所・備蓄倉庫を整備する	ことにより、避難対策	の允美、	強化を進め、災害に	-強いまち	つくりを推進する。							
計画の成果目標	(定量的指	標)												
		、的被害を軽減させる。	_											
/+//X ////	(4)CO.07	CHINCE CHENNO C.O.												
定量的指標の定	表及び算え	正式									· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	的指標の現況値及び		備考
										当初現		中間目標値	最終目標値	
										(R4≝	1初)	(R6末)	(R8末)	
安全性を確	確保した指定	定緊急避難場所の整備	により、避難困難者の)解消を図	る(避難困難者数	安芸地区	242人、伊尾木地区	区811人、前	卡野地区395人)	1,44	8人	0人	0人	
1 -														
指定緊急	辟難場所の	トイレ対策整備率								09	6	28.50%	100%	
, a ye ye look	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,													
全体事業費	B	合計	777.0百万円	Α	777.0百万円	В	0.0百万円	C	0.0百万円	D	0.0	·百万円 効果促	進事業費の割合	0.00%
土件事未具	2	(A+B+C+D)	111.007311	^	111.00		0.01111	1 ~	0.0日7111		0.0	C/(A+B+C+D)	0.00/0

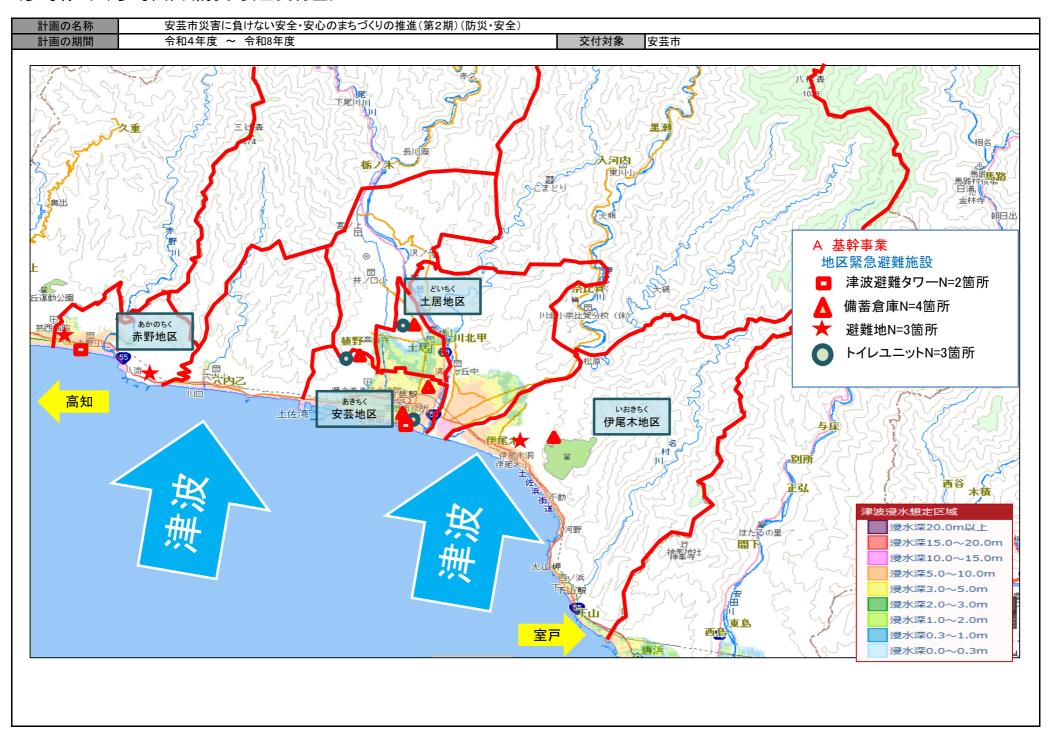
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R4	R5	R6	R7	(単位:日万円) R8
配分額 (a)					
計画別流用 増 △減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

[※] 平成29年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3)参考図面(防災・安全交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:

安芸市災害に負けない安全・安心のまちづくりの推進(第2期)(防災・安全)

事業主体名:

安芸市

チェック欄 I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1)基本方針と適合している。 \circ 2)上位計画等と整合性が確保されている。 0 (該当するものに〇) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 3 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 ⑤ その他(安芸市地域防災計画) ②地域の課題への対応 1)地域の政策課題を踏まえて、整備計画の目標を設定している。 \circ Ⅱ. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 0 0 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。 \circ 4)拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。 \circ 5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。 \bigcirc 4)事業の効果 1)十分な事業効果が期待できる。 0 2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。 \bigcirc Ⅲ. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1)災害に強いまちづくりに向けた機運がある。 \circ 2)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。 0 ⑥円滑な事業執行の環境 1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。 \circ 2)計画について、地域住民との合意形成が図られている。 \bigcirc